



The Service Club for the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU

Affiliated with the International of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 4-11-5. Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

国際会長主題:より良い明日のために今日を築く Jennifer Jones (オーストラリア)
アジア地域会長主題:アクション 田中 博之 (東京多摩みなみ)
東日本区理事主題:勇気ある改革、愛ある行動! 山田 敏明 (十勝)
あずさ部長主題:あなたの入会時の“ときめき”と多くの経験をワイズのために! 赤羽美栄子 (松本)
甲府クラブ会長主題:心機一転、ふみだそう新しい一歩! 標 克明

甲府クラブ
2020年2月会報
●今月の強調目標
Time of Fast

■今月のことば■
Look into yourself (Bulleh Shah 1680-1758)
ピーター・マウントフォード会員選

TOF 例会

2020年2月11日(火)18:45~20:45
会場:山梨YMCA大ホール
担当:国際・交流委員会
司会:ピーター・M会員



プログラム

開会点鐘	標 克明会長
ワイズソング・ワイズの信条	
会長挨拶	標 克明会長
入会式(宮川真有さん)	進行 仙洞田安宏会員
今月のことば	ピーター・M会員
食前の祈り	
ワイズディナー	
活動報告	
「お正月を遊ぼう」「シンポジウム」「あずさ部評議会」	
今後のクラブ運営について	
「来年度会長・役員について」	
「70周年記念例会について」	
諸報告	
ハッピー・バースデー・アニバーサリー	
甲府ワイズの歌	
閉会点鐘	標 克明会長

新年合同例会報告

甲府クラブと甲府21クラブの毎年恒例の新年合同例会は1月14日(火)ホテル談露館で標甲府クラブ会長の点鐘により、18:45スタート。甲府21クラブが28名、甲府クラブがメン27名、メネット2名、ゲスト1名、芸を披露頂く2名の合計60名で盛大な新年例会が行われました。第1部例会セレモニーはワイズソングをみんなで歌い、ワイズの信条。標甲府クラブ会長挨拶、荻野甲府21クラブ会長挨拶、各クラブ会長挨拶ではゲスト紹介と新入会員紹介が行われました。その後、諸報告、ハッピーバースデー&アニバーサリーで第1部終了。

第2部の懇親祝会スタート。済済会員による食前の感謝の後、露木総主事による乾杯で楽しいディナーとなりました。ディナーも終盤になったころ、夫婦太神楽のかがみもちのお二人による芸が披露されました。その際、病の床についていらっしゃった石川博会員からのメッセージの紹介もありました。かがみもちのお二人は石川博会員と親交が深く、石川博会員は今回の新年合同例会でかがみもちのお二人が芸を披露されるということを知り、メッセージを下さったそうです。かがみもちのお二人の芸はとても楽しく見事なものでした。皆さんも驚いたり、笑ったりと、とても楽しんでいらっしゃいました。

その後、少しですが、歓談の時間を取り、お料理をしっかり食べ、YMCAの歌を歌い、荻野甲府21クラブ会長の閉会の点鐘で終わりました。 丹後佳代



1月役員会報告

日時 2020年1月28日(火)午後6時30分～8時
場所 山梨YMCA 2階 出席者 標 渡辺 荒川 広瀬
ピーターM 仙洞田 秋山 丹後 小倉
プログラム

1、開会あいさつ 標会長

2、報告事項

・1月21日(火)70周年記念例会、あずさ部評議会のための会議 丹後会員作成の議事録に詳しく。

・1月13日(月)

第9回お正月を遊ぼう：甲府駅北口よっちゃばれ広場
出席者 メン11名 メネット2名 天気も良く、事故なく、
盛況だった。2月ブリテンに詳しく。

・1月14日(火)

甲府21クラブとの新年合同例会 担当：甲府クラブ
出席者 甲府21クラブ28名 甲府クラブ27名
ゲスト1名(宮川真有)メネット2名(大沢、小倉)
司会 渡辺徳之 大神楽が良かった。

甲府クラブのみ古切手収集(2533g+180g)
ニコニコボックス36921円を新会館建設資金として寄付。

3、協議事項

・2月11日(火) TOF例会 担当：国際・交流
場所 山梨YMCA大ホール 祝日だが鍵を借りる。
司会 ピーターM おにぎり購入のため2月4日までに出席人数を決める。プルタブ、お年玉切手、エコキャップを集めるが今年で最後(会長が表明し委員長も話す。来年は別の方法を考える。)

宮川真有さん入会式 式進行 仙洞田

紹介者 石原基平 立会人 大沢 田草川

今月の言葉は石川博会員からピーターMへと1か月繰り上げる。石川博元会員のために黙祷をする。

2月1日EMCシンポジウム、2月8日あずさ部評議会の報告、1月13日お正月を遊ぼうの報告
座席は70周年記念例会の部会別。

・3月10日(火) 3月例会 担当：会員・増強
場所 談露館 今月の言葉 丸茂 会員卓話宮川真有
・70周年記念例会について

渡辺徳之記念例会部会委員長より説明あり。

YMCA新館見学希望者の乗ってくるべき電車の時間の紹介(甲府駅北口からYMCAバスでピストン輸送)
あずさ部評議会にかかる時間、そのあとの記念例会のタイムスケジュール等の説明あり。

なお、記念講演は内藤いづみ氏(ピーターM夫人)。

4、その他

2月の役員会で記念例会翌日の接待内容を詰める。
富士クラブの榎村ワイズの死去に伴い生花を送った。

(平原ワイズ葬儀のとき花輪を頂いている返礼として)
次期会長選考のため(難航中)基準資料を基に相談。
記念例会のIBC・DBCの接待は?

5、閉会あいさつ 標会長

YMCA
たより

雪の降らなくなったスキー場

～YMCAキャンプが子どもたちに伝えること
露木淳司

毎年恒例の冬休みスキーキャンプ。今回は長野県の戸隠に行く予定でした。なかなか寒くならない12月も20日過ぎになって、いまだにゲレンデには全く雪がないとのこと。このままでは戸隠ではスキーができない。急遽場所を変更することを決断。意外にも甲府から一時間以内で行ける八ヶ岳山麓の富士見高原が選ばれました。期間中には本物の雪も降って何とか事なきを得ました。年々雪不足の傾向が強まっていることは感じていましたが、ここまでひどかったのは過去に例を見ないことです。甲府の街にはいまだにまとまった雪が降りません。車の運転やお年寄りの暮らしなどのことを考えると喜ばしいことのような気がしますが、実はこのことは大変な環境問題にかかわる事態なのです。

このまま温暖化が進むとどうなるのか。持続可能な開発目標(SDGs)のことや、環境活動家の少女グレタ・トゥンベリさんの言動が度々ニュースになる昨今、改めて私たちの暮らしの在り方や、今後とるべき対策について考える必要を感じます。スキーキャンプではタバコの集いの時間、子どもたちと改めて気候変動について考える時間を持ちました。閉鎖されるスキー場が増えている話もあり、スキー好きの子どもたちにも、確かにこれは他人事じゃないんだな、と感じることができたようでした。他にも海洋汚染のこと、最近の台風や地震の異常発生のことなど、未来の地球を憂う問題は枚挙にいとまがありません。このことに気づいてアクションを起こしてくれるトゥンベリさんのような少女が、YMCAに集う仲間たちやキャンプに参加するメンバーの中から出てきてくれることを願います。過去を積み上げてきた責任ある大人の一人として、次世代を担う子どもたちに、真実への気づきのチャンスを投げかけていく使命感を覚える今年の冬でした。



お正月を遊ぼう



「紙ひこうき飛ばし」の報告

地域奉仕委員会 委員長 秋山仁博

お正月休みも終わり、若人が大人になる区切りである、20歳の成人の日でもある、1月13日(月)は、早朝より雲一つなく、また寒風もない快晴の空の下、まさに令和2年の祝日に相応しい、絶好の天候に恵まれ、早朝8:30分に集合しての準備も、例年の、手がかじかむ様なこともなく、本部より机を6台・椅子を9脚・紙ひこうき用のA4のカラー用紙・完成予想図コピーも6枚お借りしての準備も、オープニングセレモニーの開始の9:00分までに、スムーズに実施することが出来ました。

折角ですので、開会式の前後の様子も報告致します。まず初めに、宮前保育園児による和太鼓演奏で元気をつけて、続いて大鎌田保育園児による、見事にそろったマーチング・バンドで盛り上がった所で、いよいよ開会式が10:00より始まりました。

総合司会は、山本公和さん、実行委員長挨拶は「甲府駅北口まちづくり委員長」の古屋里義さん、来賓としてご出席頂いた甲府市長の樋口雄一様、甲府市教育委員長の小林 仁様の祝辞と続き、本日の実施するイベントの各代表の紹介が有った後に、終わりの言葉として、甲府ワイズの標 克明会長が、この広場の周りを飾る、バラの鉢植えについての、「ラロの会」に苦勞頂いた歴史を語り、5月~6月の開花時期に再度ここを訪れて頂きたい旨の話をして、開会式を閉じました。

さていよいよ11:00より各イベント会場がオープンすると、天候の良さも手伝ってか、親子連れの参加者が最初から来場されて3つある課題の ①へそひこうき ②ジェット機 ③のしかひこうきをサンプルコピーと甲府ワイズ会員の指導にて真剣に作成しました。完成した順番にスタンプラリーにハンコを押して、記念のアメタマとお菓子をプレゼントしました。やはり子供たちは、いち早くひこうき飛ばしを試したくて、北側の石段の上

に登って、カ一杯大空に向かって紙ひこうきを飛ばしていました。上手に折った子供の飛行機は、15M以上も飛び家族に喜び、3M以下しか飛ばなかった子供の飛行機は、甲府ワイズ会員が再度調整をして、より遠くに飛ぶようにしました。石段の上の高い所からなので、事故が有っては困ると心配しましたが、無事何事もなく大成功の内に終了しました。今回は、予想以上の参加者が来場され、先程の親子連れを始め、タピオカ・ミルクを片手にした女子高校生まで、用意した460枚のカラー用紙も全部使って、若干足りないほどでした。予定では昼食後の1:30頃には片づけに入る予定でしたが、次々に参加者が来場されたので、終了時間を延長して実施し大盛況の内に終了しました。最後に当日の参加メンバーのお名前を記してお礼に変えます。秋山仁博・荒川洋一・大澤英二・大澤メネット・標・標メネット・済本文雄・仙洞田宏安・丹後佳代・内藤有一・Pマウントフォード・廣瀬静男・渡辺徳之の13名でした。

Happy Birthday

メン	廣瀬静男(18日)	秋山仁博(26日)
	二子石宣秀(26日)	武田信男(28日)
メネット	金丸美香(13日)	石川順子(23日)
	田中千里(24日)	宮川啓一郎(25日)

Wedding Anniversary

神山玄太♡奈緒子(2日) 渡辺徳之♡広子(21日)

今後の予定

2月18日(火)	70周年記念例会委員会	山梨YMCA
2月25日(火)	2月役員会	山梨YMCA
3月10日(火)	3月例会	ホテル談露館

5月9日(土)70周年記念例会

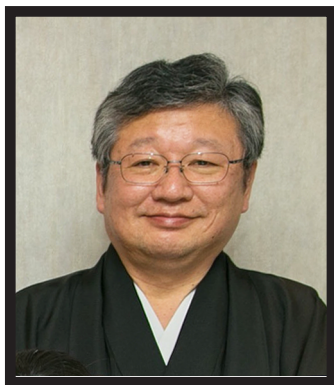
※今年のチャリティーランは
11月28日です。

●エコキャップ、プルタブの回収は終了となります。
来年度からは回収いたしません。

※Change!2022 シンポジウム、あずさ部評議会の報告は3月号になります。

1月のデータ

会員数	35名(内広義会員1名)
例会出席	30名 メン 27名 出席率79%
メネット	2名 ゲスト 1名
	(甲府21クラブ 28名)
ニコニコボックス	36921円
	(山梨YMCA建設資金として寄付)



追悼 石川 博さん

去る1月19日、石川博会員が天に召されました。62歳でした。石川さんは、2008年5月に甲府クラブに入会、2013～15年クラブ書記、2011～13年、及び2015～17年にブリテン委員長を務められました。2017年度には東日本区ブリテン最優秀賞を受賞しました。また、本年のクラブ70周年記念事業の実行委員長を担われていましたが、半ばでの急逝となりました。

元駿台甲府小学校校長、野口賞郷土研究部門選考委員、山梨郷土研究会常任理事、やまなし県民文化祭文学部門・小説の審査員などを務められました。

ブリテン2008年9月号の「My Favorite Things」のコーナーに寄稿されたものを一部編集し再掲します。

「本に耽溺する」

石川 博

「私の自慢」は「本」である。中学生のころから本に取りつかれ、今に至るまで本中毒に近い状況だ。

学生時代は大学と都立中央図書館と国会図書館を結ぶ三角形の中にアパートを探し、自転車ですの3か所を渡り歩いていた。大学では個人全集を片っ端から読みあさり、テーマによっては大正時代の本まで借り出した。学生の身では買える本もたかが知れており、神保町の古本屋街でよく100円均一の台をひっくり返していた。また、専門が近世文学なので、江戸時代の本を求めて東京にある国文学研究資料館や各大学はもとより、東北大学、九州大学、大阪府立図書館、天理大学などにしばしば足を運んだ。これは就職してもしばらく続いた。

新刊書も古本も、買うし、読むし、取っておく。最近はインターネット経由で購入することも多い。これまでに、本に関して、買うための膨大な金額(数千万円)と、読むための膨大な時間(数万時間)と、取っておくための広めの家(6段以上の本棚約50本を置いている)が費やされている。仕事も家も、本を安定して読むために選んだし、ここだけの話だが、結婚もそう。もちろん結婚せずひたすら本に没入するという選択肢もあった。しかし、蒲柳の質の我が身としては体を労わってくれる家族も必要だと感じ、結婚を考えた。その際に最優先すべき条件は、本がいくらあってもそれを嫌わない女性。というわけで司書を生業としている方を対象にしたのである。これなら大丈夫、という感触を得て結婚した次第。お陰で本を巡って波風が立つようなことはなく、平穏な生活が送れている。

石川さんを偲んで

仙洞田安宏

私より若い石川博さんの訃報に、ただただ驚くばかりでした。昨年の初秋、体調が優れず治療に専念したいので、70周年記念事業の実行委員長を辞したいとの申し出がありましたが、暫くすれば快復され、例会にも出席されるものと思っていましたので、あまりに突然の知らせに茫然自失でした。

石川さんはお父上(石川真一さん)が甲府ワイズのメンバーであったことや、従兄弟の山崎善当さんも在籍していることから、ワイズへの入会もスムーズだったようです。小学校低学年の頃は、お父上に連れられてワイズの行事に参加した記憶があると仰っていました。

専門の近世文学や山梨県の郷土史にも造詣が深いことから、県内自治体の史誌の編纂や、文学賞の審査員なども務められました。クラブでも例会での卓話や、ブリテンの原稿に困った時は度々助けて頂きました。

また2012年に、あずさ部のメンバーで甲府北部の寺社や歴史遺産を巡るウォーキングをした時や、5年前の65周年の時に、遠来の和歌山クラブの皆さんを甲府城趾や甲斐善光寺などに案内した際のガイド役を担って頂

きました。私に関わっている藤村記念館での「まちかどの近代建築写真展」にも毎回来場され、適切なアドバイスを頂きました。

そんな石川さんに、ある時私がブリテンに書いた拙文を『いい文章ですね』と誉めて頂いたことがありました。専門家にそう言われると中学生に戻ったようで嬉しい思いましたが、これは石川さんの人柄をよく表しているのだと思います。石川さんとはフェイスブックでも「友達」でしたが、亡くなられた後そのページに、教え子の人たちから多くのコメントが寄せられていました。それらを読むと教師として尊敬され、信頼されていたことが良く解ります。

この拙い文章を天国からどのようにご覧になっているでしょうか。あの笑顔で誉めて頂けるとよいのですが。



あずさ部のウォーキング事業で解説する石川さん(2012年10月)